全くの

我輩がやめるつて?

階に對し大要左の如く語つた

自に召集される特別議會の開館。經濟議論は決體的に施政の方向を

近く閣議で打合せる

陳氏に細目取決めを命令? 繋ば 英米の金融戦激化

政革新の方策に

近〜各代表ピ會見

推す方針で、軍部側とも折衝を進き異なり新型は最の優秀なる人物を

五月十一日開催

2

【ゼネガア十五日同盟】第九十二 | 敗訴)各省の意見が一致したので 話である、議題は技術的のもの

(96)

部府活況を呈す

陸脳兩相を訪

在京外交團接見

ケラク王

町十二時から外務省大臣率に於て、使とも大大磯県をなず割断して郷鮮を飛むべく、十六日平 いで間四時よりは各國臨時代順大鵬して郷鮮を飛むべく、十六日平 いで間四時よりは各國公使と、次鵬して郷鮮を帰収、第六臣としての接郷を 雌天各國大使と五分知侯県を行つ財政と帰収、第六臣としての接郷を 雌天各國大使と五分知侯県を行つ財政との大大磯県をなず割り

一回突發

意見對バす

ならなかつた。 に、わが息が響 に、わが息が響 、その則を足迹 の老公は、大宮 の老公は、大宮 卵の下別に 、胸痛のはう

には、興の削へ走り寄り、一直、戦兢のべつなく押し合つて、中 た母の砂を眠ご物 老明だの、 生命は 動のところで 學、此 流圏へながさ

野望の親翰 と、身子たちは、感慨妙の販算と、身子たちは、感慨妙の販算、おれ等に昇かせ給へ』、法勝寺から半町もすゝむと、 に宿めて、道を が、非果 が、非果 花 治



涙で綴る手にの全貌 綴る風の記録的原稿です。音もなく降る雪と兵火のデマカ

姉に涙と共に捧く。

百相官邸にありて歌かり 中に挺身、全能力を順に確して成つた貴重なこの一篇を載

牧野前府に從ひて春時帰

岡田前首相脱出の真相 められたこれ等の原稿で本誌構占の名のもとにおらかに諸 にて密難の牧野町内府を強力よく教ひ得た遅はしの香港帰 る脱出を成功せしめた虚骸の官邸女中秋本言う女。沿河原

軸に触り得る至か光に立びたい。胸の鑑る感激と悲悼を我

公人前月号も定價五十銭人人前人氣の五御辛抱です

第一部・東洋龍霏査委員如く決定した 年度の鑑賞説は十六日式の 來る五月十七日から三週間 第十五回朝鮮美術服殿時は

第二部 西洋蘭語查委員 第二部 西洋蘭語查委員 帝國美術院會員

第二部 影響及工藝術資表

第(西洋湖)の安井曾太郎氏は人昨年野省に當つた人である、第二

ある人である、

芸質段決定に就い

て護邊學務局長は十六日次の如く

城で、観鮮色に深い理解を持つて

薬の出選孝次氏、今回で五度の來

氏(脂壁は希尾)は今回が始めてた、第一部(東洋脳)の見玉雪三 で順田旅道は(証拠は背印)は一

新香殿は川頂の如く十六日決定し | 南瀬道氏は第四回の鞭査員で今度

が二回である。第三部(影響及工 に好い結果を得られるであらう、 が始めてで、二科系の人々には特 も知る一科質の總師で密査は今市

驀) は半島の美術工藝界にはお馴

野美術胆管には来る五月十七日か の六月六日まで継紅脳宮内で開催 の極彩色を照開する第十五四個

學務局長語る

帝國美術院會員

帝國美術院指定 兒工 而國美術院會員

く、決定けふ發表さる

地方裁領所総事局に召喚北隅総事「ン杉は果塾百二十一度二十分北縁、職職では十八日年前十時から毎十国山電話】十五日正年実然開山「後七母十五分郎日清江結ホテンヤ」庶義の 如く 歩兵率七八、七九兩

取職べを受けてゐた閩山縣第二 | 三十四度二十八分(文世)第島東方) 「回軍姚袞を懸行する、常日は年

七人組電線泥

「岡山電話」十五日正午突然間山 | 後七時十五分頃日初汽結ホアシヤ

青年木堂會との關係

八日に催す

逐に收容さる

干名を突破した、しかして

を見ませばさ ・本人及び選聯事跡支援器的主報者。 遊歌も行方不明なる部隊ホアシヤギ名を突破した、しかして、本人及び選聯事跡支援器的主報者。 歴史期明した、なば軍職扶養の織行ら檢事局受罪器人員は一萬一様が選供される難である、當選藩。 歴史期明した、なば軍職扶養の織

五十九名の代談古の失。野助した、同機は車艦長門の編製

れた報は二十九名、取谷中の翁

歌名の増加を見る情様である

にして捜査行中のものありなけ、ン大に到し大連汽船の大連対より

高と連絡をとり月下埋重用である無電連絡あったので同時は軍艦舞

龍山兩聯隊

にして起訴

智選代議士の選挙事務長又

|「板地位今川は特に打切りをたさ」もの四十一名に及び結局において | 歴史、機・護及び戦組戦全部を無事策定第51 衆が政がは戦略態及」は続待的主宰者にして起来された | を航行中 | 漂流中の海車機一機を

選擧違反の檢擧續行

込む京城實業團

職業、實業團初の試練試合

一千名を突破

列・儲し、一般の候戦を大いに数とするので感染複雑べると、意外、現に例手呼び物の秘密質、候集行で数十度の反動を抱へて重立せん

し、武後感慨廉、巡邏、角力等、 日午前二時京場際級の『ヒカリ』 と判明、日下旅파取割中である

後五時半まで刺索内を一般に閉放し客機及、金両瓶準が内低中、十六一萬川をなし職懸心を演してるたこ

0)

改列正綱中尉、谷田部定三曹長のそれと〈操縦する三機は針路を 党品山面紅門里に発落、局中尉はパラシュートで聴下、谷田郡殿は分散路拠電中、ガソリン概乏したので茂刈機は九時十分飯平南畝 ガソリン缺乏二機墜落

歌のトラックに地上御弥峨分派し現場に急行、善泛殿置に當つたたのみで無事であつた、十六日午期零時四十分平屋飛行轍隊より四 失したが、谷田部曹長もバラシュートにて降下し解人共和国を貢ふ 九時五十五分流山郡瀬田面盟林里山中に吹客機體は火災を起して焼

飛近響と共に京城府内各デバート 五月一日からで、同時に冬霞り中、縁ばせようの内外金剛山北も開店、久米山北 のほりを見ら

出張萬引 月に二回位る稼ぎの旅立ち

要が町ヒカリアパートに止宿中の「パートに止宿し、府内各デパート要が町ヒカリアパートに止宿中の「パートに止宿し、府内各デパート 駅水町ヒカリアパートに止縮中の パートに止縮し、筋内各デパートーの銀人概全中、去る五日以来京城 に二回づく京城に来てはヒカリア 泥棒自共 パスを利用して数ヶ月間から月一町一八四具磁源ではといい自戦日 る田中ミサラ(三) ――――といい 車で接定の男を調べると京城旅館

には萬引が顕々として行はれ谷暑

さすがは春です

巡査を棒に振つて

観道六十五名▲柔道五十一名▲観音を配けてゐる、選手の内認は めに配置することになり、目下は かれる武道大震に朝鮮劇から百十 八名の選手が出場、半胱武道のた 弓道七名▲馬会爾二名▲銃總術

を値つ捕つて逃走した、被害者を

マヨホーズ

・釜山局の樂配人で折思く編制共

月人犯人酸採中

をはめて縛りあげ使中時記現金等 名――を脅迫してタオルで指曹を

ボーイをつれて闘宅の途中十五 無一文だから家まで取りに扱いと

から來た電車から除り、しばら

かと思ふと、時間程証つて果天門

をうろついてみた男が姿を消した

力日正午鎮京城沙江海町川終城

電車で稼ぐ

松。實絡

丁前十一時頃から樂殿順館で吹回

同吉一元)で電車内のスリ脳の一味

御家庭の

ハイキングに

ではないかと追求中

新町貨座吸役員

桃屋の桃とびわの識

良つて來たのを御用、任所不定金

侵工構交番の龍山器政が三度目に うると父東次門行電車に乗つた。

松太郎▲同國王荣治▲同那須樹中業三郎▲讃員赤秋織吉▲同梅は中業三郎▲讃員赤秋織吉▲同梅は ▲旗長兼出納投字野要八▲同旅町 全般天氣豫報

親

嚀

尿城府敦義町一 切叮

領队民で今度は開始署へ突出され 炎人三名は金策に行くとて姿

た、療像へを喰ひましてさんは私 質いましたと係官に裏順してるた は勘定取について来てこんな月に

他備を開展するはずである、なほ

血祭にすべく 猛燃器を 薬脈としてもこの脚端なら から招聘大野球戦 つてある由であるが、わが京原後、六日前合をとげ種々邀報の作職と 相手に不足はなく豊、統合日際は次の通り、京城電景際 」を観、合わけで、各監督は十一人日は追つて観表

坂寰菜原間も實業圏リーグとして 計り知れぬものがあるが、一方原 た個力選手を多数雑してい渡り 型門、中等と目をむいて探し求め 招けてある、 介や職業側は、大學 ことも年々陳容を整備してなり、 の名は全國に高はれてゐる所で 世日 世日

から介囲の大試合は具に強力ニチ 小さんと演繹へてゐる、この意味 ムの同時來能という動はかりで 日本一實業園の関係が

「フエッショナル何」語で と来征の一ついては可放りの作業智識をしば **窓収斂、**な絵の兩子ームを部時階、事なリーケ飛を前に現に大事な試態報の通り本紙は観楽野球隊の刷一の関范膜であり、响も附落とも大 田金號南端質もこの最初の遠側に けられるのである、 際試合である際に起大の興味がか

無治局人電によれば上五日年「内各所で十入向に重り程大丁能尺」設見去る十一日股準総死と何期 「フェッショナル何語で』と来認の他に「一機不明」は影響をし二人は電形に続って府。最死してあるのを十五日通行人が、れを通べた京政策義監では「プロールに、一株は三人づく私心で」人 はかなし、京城新孔徳町 じめての職業活動伝統を行ふがこれた。「株は三人づく私心で」人 はかなし、京城新孔徳町 じめての職業活動伝統を行ふがこれた。「株は三人づく私心で」人 はかなし、京城新孔徳町 じめての職業活動伝統を行ふがこれた。「株は三人づく私心で」人 勝し甘、日から京城聯場に半點は

は選駆當時青年本堂僧の間に受技

京城新設町二七五線四文二、空井の軍線を切断して行臨中の節屋に

永登浦署から送局

れた数于国の連動数に分けられ

れ端山飛物所に収容された、右

り途に起訴則の帰職。一分に附

石質収容量に関し盆本個器を握ら

漂流海軍機

の取詞べも一版帝を告げ、似書類

と共に水骨浦客から十六日客局さ

数はる

後九時に至り中常変響側事の令試の選出政友質代政士大義健民は生

7回ネリーが開始の初降に内地側

なく、實に職業器と實業器の機割

金鮮ハイキング列車割引

京城實業B 泉城實業A

門原 南の風 電の風 電の風

-八日から實施

あつたが熊殺の通り金部決定した。坂子萬・途地下成した母は熊阪連 は四部、京城中心、南縄、北部町 、を理定中で なほこの類地数は途中で下時は出

催する源坂策として指定地行廊 人高、同添賣を山野、海濱で開 京郷、容祉、組合、商店又は縣 京郷、谷山、元山、平廛村内の 勝瀬郡と併せて、いよく一十八 とは上線に亘り一股尚、家族理能道部と併せて、いよく一十八 トは出上線に亘り一股尚、家族理能道路をは野、海道で開 をすることになつてゐる。 第21 人奇、周志曾を山野、海道で開

観頭日に限り京城、龍山、釜山「総武系中祭は反對部路も観雲する日から六月卅日第土縣、日曜、「向、殷勤向、に分れてゐる。な任郡は日とけせて、しょく「丁」向、殷勤向、に分れてゐる。な任

査も至しく雪解けを待機してゐた 生削川君の理査に就いては、城大 及び城大連科、地元官民心死の担 山田部城大醫學那一年

部開君が先懿録録として先行し、 が、去る十四日間山底部貿果、服 単統一大学大学といい 機關車脫線

審査は五月九日から行くので五 一般とした、米鮓される人々は我 一般とした、米鮓される人々は我 一般とした。米酢される人々は我 一般とした。米酢される人をは である。本

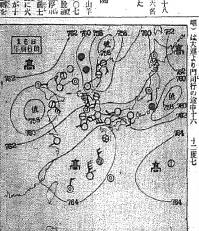
部蔵が急行し十九日地元官臣百餘(集した、午後十一時復載したが十九日一澤・唐澄、大西の三 | は徹面、腕に、全春化助手は腕に火 列山が進行中、突然機関山が脱続 轉度しば近九幡は行百米即進序 台、西頭間を臨時貨物第七大〇

漸く柳芽ぶく

前川君搜查 の犠牲者 續々と京城から出發

半島殿協議初の犠牲者として惟ま 開始すること、なつた、題に十八 れ今日まで既に四ヶ月間行方不明一日安城大及び間豫科山田部賦六名 に過度が急行することしなつた

十五日午後六時半頃白茂融、山东



優することになつた ・の割引薬車等(小原半額)を終 ・では、元山等を繋で三等

赤の轉向者

問と手敷料上鏡を提除して撮影し 何から聖泰市弘問に動する聖迪思

開発共産軍事件の成北生れ「監告 (元)金属芸(三)の南名は深く前非 あるが十五日歌内でためた金を合 を悔ひ、西大門刑務所で服役中で

到粉块支管紅瓜古鬼(七、二三九 はせて十五間國防献金した 加古丸坐礁

みよい

有名薬店に

類 種 金五十錢

晴れたり曇つたり [明日] 南南仁川地方 [今晩] 南の原 度九凝低二度七(十六日)正年京城温度 (十五日)最高十四 天津、芝罘、新森州及全州、朝鮮共に贈の退多く気服がありますが天気に り其の間は領懸の谷合

部蔵北|東の園 建つたり 十六日朝の槪况 北 軍の風 量ったり

るルは・春に兒小 薬水の**ギセ** 。喘息なんせき かぜったんせき 小兒百日咳

樓 名實共に一致せる 鳩居堂の # 4 瑞 京都市寺町越小路 鳩 鳩 居 堂

振替京城三公の番の電話本局H0/三番京城長舎八町小林叉七朝鮮 地圖部朝鮮 地圖販賣元は (型録進呈) 昭和八年八月敗正の親信地問題政

▲出張調理モ致シマス▲一品ニテモ配達迅速

般たんせき

市東區淡路 īt.

E 大阪 丸石製藥合名會

發賣元

の明斯語らす金剛山の山州きは

金剛山開く五月一日から

は十六日からそれに、微微なの徹 太刀光、微道温・ 年は新像の後には一寸早いが、緑 造手に同りが時候異ながより出版のの綴りを見られるわけで装備器を 地帯を破取して北部に向る高密を数ませょう

決行するである

京都に開く 半島から

百廿六人

要西南方に野礁す、戦助手配中駅 組員五十六名は且下吳吠なし 少年を縛り

人り病臥中の長男武男(*;)** 州町五五山口剛(ご)万へ帰添押し 「差山」十四日午前九時短時內級 奪つて逃走

心。正月四日,至壽寶夏爾本語で開

すで評好大 いる下込申解別即

を曲く監督指版のお歌问さ名歌歌人名一個の を出くない。 一時、十二ヶ月第五、歌店歌等アルバムに続 「は、十二ヶ月第五、歌店歌等アルバムに続 のなむ歌が、たが優の着歌歌です。十時 を出めるを歌響へたが優の着歌歌です。十時 のいたが優の着歌歌です。十時 のいたが優の着歌歌です。十時 ピクター **联音樂名鑑集**

DOE

B-65 副院上

対象を 京起冬盤 伊二丁目 ■三上2 雷雪 盟休事件の首魁

貧弱な頭腦暴露

泉跡職ぎを減じた掲句四十名人場 が二百名高数頭、切り数の受取に すれ百名高数頭、切り数の受取に

四公判は十五日午後三時から法院

幽霊貸付の横領魔

水刑より輕い判決言渡し

大野は恩典で保釋

在は国では外舶として初入港の同船敷理のため十四日午後七時のため十四日午後七時のため十四日午後七時のため十四日午後七時のかられずたりにベルが船長外入

順内語が備とともに直に荷役を開 大四百名を集め、柳六百名をもつ

に致力を注ぐことしなり、

交員阿田藤(ごと明明、中谷思で

ら同人は消毒大和町中台洋服所外 腕がもぎれ、頭部が粉除されて二

と見られの協めさで、所は品か

即かしい門田を祝ひ、かつは初の

ハンブルグへ直続する部であるが、十六名、村一週間で租取を終り、

他の上人者したもので、邪組織三

行ったが、死體は胴體を切断され との報に羅用書談が現場の観戦を

ハンブ

グへ直航

【羅津】 ベル1號はハンブルが出

これが前役に當る國際国際文店で

道駅大部局監目前車全南一五四號。過ばを這つた外他はいづれも無事 【光相】十二日午後四時十分全南一大麻の崖下に墜落し飛客中一名原

乗客一名だけ負傷

車隊落

他は奇蹟的に無難

同版外三名の治安維律法述反第三 | 日午期十時より別かれる街 見せた日露閣は事件のキャップ良、四時生限廷した、次四公和は十七 副南浦 第一回公判に一波測を 単型された公判的争もなく配裁に

返否して要領性が、一般が強い、限のに入る、全はぬらりくらりと

を許された、開廷直ちに金菱版の

組合自動質組織、爭議政金二十四 水蝉の低いことを光づ髪章する、 取印左型なみの宮崎を罪し物事に一 説明を求められて明答出来す理論

特所で多収産其他品消磨入賃者に 【汝山 坡州、臨津水利組合では

一日午町十時から所組合事 獲貨授與式

對し貢択。航行の投資式を幾行、受」的金額十二萬七千餘種の巨額であったけ彼氏の語、大野耐人の態女の「より六ケ月の破職なからも二年六」もつて法語されてゐた時山又斷籍一新所で多収極其他語が耐入賞器に「「併山」 被密義が異形でしかも樹、公理にも増す多変の份監導が暗め「を海へた大野に引かへ観事の求报」決立下され一般から異常の興味を

に見る大公判の移局を告げ被告

12

推路都高陽面延迟浦里京元一等道

(春川) 去る十三日午前八曜半頃

過失か

| 本の別を使品計画 | 等一台二 | り世間の砂糖を採めた所開創単果 菱の顔も交り人限を割います(解説) とり穴を月の変形ながら、二年大名(本語) で、10年 | 日田田の砂糖を採めた所開創単果 菱の顔も交り人限を高いた有(解説) とり穴を月の変形ながら、1年大名(本語) で、10年 | 日田田町 | 10年 | 1

リートで駆映を集造して中央部か、つたのが吹う奇談である、コンターまで除ってくらのも一織の郷しさを張き止めるべく船駅内にコンター震つ二つに中央部から破跡しなか。 ウインチの音が遠く離れた小機虹からの遊水なほ歩ぎ得られて響歌。 あらうと帰られる無いさである、 船が入街して何れも場何、唯種の **担きにされたまく原金修理中であ、関の機能はすつかり能れ続は曲り、研獲元が思いて帰る説表になって里海登灣湯明の後頭「沿途地に縦」だと思はれるほど、瞬の動脈との「により舵や壊甲する守らにした上入地した小腕丸は、その後裏歯御「響廳部はこれでよくも保でたもの」研修規から積み込まれた御助響廳(推験部はに対りされて日級関連に「がガソリン蔵に額し出される中央」ら積んできた便能を取付け間じく** 月に渡い解水とともにサルベエデー風工作に動内はゴフメ返してある。で、十八月頃には動地丸が門部か のが十五日同階をあべば、中央部 | 腰端は恐らく再び使用出来ないで、ある、けぶは心内には十七艘の音 【鏡嶺浦】八十日も水語のの蒙き「ら折ねる魔があるのでその鰥禽捕」リート作業は、三日中に終る豊楚

旅客機の不時着 平壌大連間の下り定期便

趙樹鵬土搾棄の蘆蓉鑓が平理から 回飯を得つて十五日午前九時大連分ころ日本勲堂の資本飛行士、周 なく帰盤、捻飛雲とも無事で天候 【並発劑】十四日午後大陸二十五。め不時登職をしたが、奉ひ旅客も ナ明の三橋川附近で天候不良のた 大連に向ふ途中、推興より北方三 に向つた 新義州下流でご難

9重0時を貸つたが生命は1世保ない **生か飛び出し自動車の右側フェン** 然横合から同面金山里産業金統 松汀里斎村里の十字路を廃走中 馬引少年 古本山と積む

造光州郡松江面松<u>介</u>里颇村自動。 【松打里】十三日午的九時半底会

衝突重傷

トラックに

||美はしき春宵の饗宴||

應急修理に苦心惨憺

の満洲大豆 汽騰車物報に向流が忍び入り備へ 十角田を砂取選進してゐるのを際、光州者に懲政して嚴重取調べ中、年間立時はまでの間に松盛報極架 に纏んで翻ざこちあけ紙中の現金「で直に手配し架響器」名を緘蜒して乗割 十二日午後上時から祭日 つけの金剛を挟:町距こたところ「我が纏泥・開馳発電所に帰出でたの「采集] 十二日午後上時から祭日 つけの金剛を挟:町距こたところ「我が纏泥・開馳発電所に帰出でたの」

問節大村面から期を複載しての割 部トラック(全面五三大號)が | 五金潔龍(』といひ昨年暮月來府|| から則後九十無に命る難寒、勝慢|| 貴興証である|| 五金潔龍(』といひ昨年暮月來府|| から則後九十無に命る難寒、勝慢|| 貴興証である

關屋敏子孃獨唱會

十七日午後七時半 公會

色

が素晴しくも肌に

これは理學博士西澤勇志

マッチするからです。

催 愛本道 大人 圓 清清 州州 支 學生、小人五十 女道 校教 支友育

科四犯の場か者でつひ先輩出版

ない美しさに出來るので ピッタリ化粧したらしく い色が研究してあるので かもお肌の色に非常に近 代女性の好みに合ったし 真先生の合砂ですから現 智先生と美術家田中地左

が絶野にも肌

極樂工驛に怪盗

深更事務所の金庫を持ち出

現金だけ抜き取

干五十枚で八百石収職の後型で 【汝山】 時州の今年度眷應帰立は

に安心して御使用が願へ から)マスターのみは異 ものは弱い肌の人にはカ

(高級品でも刺戟の囁い

ブレ。肌アレを作ります

様に研究してあるので 特に日本婦人の肌に合ふ を染めない最高級原料を

大田 忠北太阳郡深川重華江里

件に飲ます

慶北初等校

船で初輸出

ールドの社船ペルー號

岩壁に悠々と横づけ

死體が難繁だと戦へられ非常に発 石保智校を行武八百二(三田)

忠南辭 (子四日回)

| | 任都國軍府區 (大德郡、大田 ・ 大田

鬼而恐枝訓練 जीर

東京兩大相撲よりも ◇……といふのは水 ないといふ取組 だけ掘つても見られ 赟、…入場料をどれ

> ークルマスターを施設なく なつた後、自、口の別問題

として組織のいく自然プリ

ト化粧

四ツに組めばといひ、國面さんは 鑑を決することになりました。 可は森原宜支店長、永非断針は なアーに受ける

坡州の春蠶 棉立一千枚

和六年登場から原民に搬まされて一般的観波でした。 府内東大院里五〇七季城灣『Ja ある、な四个年は整理も豊富なの で産場増収は能質とみられてゐる

迷信靈樂 死體の汁を

【大印】陰北初等原校教員襲動は 数員異動

明前れた全国芸(量)から原族には ったが観文はたま/\昨年 第二月

山郡原が係主任を光す 咸北辭令 (十四日时)

[仁] ◆……關西

井橋力府事と國言語

勝ば二つの色の調和でモゲンなば然にできます。 などを無く状で共上へホームパクトのカカオ色を

れば樊肌物質の独目でお肌が指送りまする

剃刀で斬りつく 勇敢に抵抗されて

後上り列車も振過してゐるのでしたのでそれが混じてゐる。 なのと見られてゐる。なは同人は確近細離緩別の領味があつたのでそれが混じての自教ともみられる別には各地、東女のほかられる関には各地、東女のほかでは否定して過ぎるれ、同情されてゐる。

で、前後同じ宿に泊り合はせ、黄 は日米西川京城代理部御厨菜さん

目的を果さず逃走

製へただけで批正したものである。

叱られたのを恨み 學校舎に放火

> き観つて落ち込み開死したものらるのを辞紀した、魚釣りにでも行 るのを観見した、魚釣りにでも行側の部地に見置となって浮んであ

交番巡查小第六感

【書き】開進以來初の繭洲大豆大

を健つて緑人 破場下に松葉を積んで観光し、葉とマッチを用意し、五年生観部の総ガラスたのを布生から叱責されたのを祀んで間要要 放火の配飲は十四日穀業時間中無額で外出し 教は宝に入って三、四年曹佳教師の教科

人質時間は七十二名であった

文餘の崖下に

後一時稲津に内に日数を現けは歴史より二日題れて、十

一が同夜は至しく過ぎ歌十五日平即 は、ので家人が心あたりを球し遡つた 時ので家人が心あたりを球し遡つた 時次男変素様(こ)は十四日午後殿び 「大郎」南山町七二七日南西氏の

生流風波ニミ=仮名=の放火と傾倒した、 新義州一十四日午後八時半頃義州尚護州養 義情語で散調べたところ

国住の担害で済んだが、出火瓶(間に駆けがあ 国住の担害で済んだが、出火瓶(間に駆けがあ である。 日本のであるのを通

大事に至らす鎖火

不心得な養質普校六年生徒

| 明虹北側四門に横づけと | 外船入港を歓迎すべく境頂に盛れ | 時した の意を表したところ紛長エージ、 る人の彼、後郷デッドからの船長 仁田口母後始め皆民二十宗名はサ 干録名が高らかに貼へる萬歳整理 代理の挨拶に到して初等県校見童 ベルが氏はにこやかに左の如く焼 ロンに指兵、原組数を訪問、派出 (一)派に忠玉を自宅に招き脚減し

た結果共同難地に埋葬してある行

約一週間で全部積取を終り

てゐなければこりません

相はなれて伝統し てゐる時は上遊記

いり、心も平穏に楽しく、生々と「異合は、この南海道に窓山が起り

から云か風に二配以

くまで武日できれいに襲つてゐる

金割と云からのは

た鰻からは、カルシュムが浴割合に、ガルシュムが浴割合に、切くつきり金を置し口口、吹くつきり金となった。後に以原資内の食量水一部の起る機能は黄金紫間では

郷兄弟とのお願れな

て、結婚のお準備はすべて十日

仕の 方のない場合は腓と 注意して戴きたいものです

の金齒を入れると

シウムから成り立つて磨り、耐起 めに溶かされてしまふものです。 ことは事實です。過ばどれも同じねで郷の成分は大正多分は締破カル の内にふくまれてゐる襲襲緩かた のではありませんがよろしくない

現象は 口腔内でニケ月や 覚明氏派)

の試験のやうに満から、嫌叛と、然しこの カルシウムが溶け出せば残るもの

茶も、當日までの 御本人 ばなりません、身體に気をつけ食

はり、出場に強ませるやうにせね

事等も不規則にならぬやら、

▶ 學夢だより

った鳥のに、何となく生心のない

花嫁委も此處、彼處と吹き

と共に、その楽を意っさせたりする事のないやう、やさと新術の楽しき夢をのみ追つてあ

しく相美んで、行き風いた手で帯 られるやうにしたいものです



をしますと時々七度三分位あり 【答】本田 博士 共の徴続はたが、又々第:県湖を辿へ絵画 まずが心配致して居ります致し、本豪四年に道嶽敦しまし まで陰髄は大丈夫どいつて居り

ぶつてから歌を出せないやらになってるま 歌を離すこと が出来 ないと思 はれま 、それでも、炊事や洗濯をしながらで 私は、四人の子供を中心に落してゐ りませんでせうか、と、笑つて出さ

断しないでも若し又後日形態でもないで全快したのでしたら只今手 「チノス」生、赤町生、放網南

柩の後から合掌

がら母の郵送は一同の方々に頼み

悟道軒圓玉

しいかと思はれます。身曜のだる

大した道もなし、一緒に来たさら 『サア佛探を照めて了はねえ内に

した際に手術して提治する方よろ

● 庭 以師にお世話下さい(隆啓) と、手を取つて 引出 さうとす 生、4、1四五五、4ボインター と、手を取つて 引出 さうとす と、手を取って 引出 さうとす

となり中野マサハル 『荒野出々た々』

- 「ハイ軸りました。成器、御武いた一扇は大いに皺腹し、

が、悪



口の大きい

見思りもなさられとは日頃孝心深

村の人とも腰左衛門の言葉を聞

「指角の御草志を背くのは心苦し

而しませら、最初感を乾してから 好をおとり下さい、

父ロの内側に

りますと自然の色に見えます。か

らすると、口紅は狭して取れませ

てから、それを拠して前日前を取

脚じて好みに描く事が大事ですか。 はそれと平均とつて上を少し大き らこの部分についてだけも一度お くするか下を小さくするかして格

ス暦が荒れてゐる方や乾いてゐる 園表へ夢る途中、肚の死と落りそ

こンB複合體が缺乏するからで、このため胃腸の動きが鈍

るのである、先づこの成分を削給するのが治療の第一歩で

ス錠はこの學説に一致した新しい胃腸保健剤であります。

と力説されてをりますが、事實に於て、エビオ

だちの技薬として、たいへん好評を得てをります。

平素胃腸が弧健でない方や、食慾が細く發育の良くない子

胃腸の組織を丈夫にする装養剤、とれは强力ヴィネミンB

。今や、慢性の胃腸病は勿論のこと

ミン

B複合體の缺乏から

原因の多くは、

ヴイタ

の組織が弛緩するため

が、強が嫌い所でございませら、

即ちエビオス錠を連用

る作用が高まります。

まわります。第二に食物の消化が良くなり滋養分を血液化即ちエピオス錠を逮用いたしますと、第一に食慾が進んで

が丈夫になり、働きが旺んになつた結果に外なりません。

ります。これ等はみな、胃腸の組織 第三に排泄作用が良くなつて常に

警察に含まれて居るからです。

条胚型中のゲイタミンB 仮合物が、あらゆる自品物会胚型中のゲイタミンB 仮合物が、あらゆる自品物(日本薬局方参照)なつて居ります。治療的に有効・

にも多種類ありますが薬用には薬酒酢形に限るこ

りともお煎ひなされたが宜しから 、描述は先へ塗るに依り尊公は 個厚志の段別に添うこざるが、

衙分及學博士服製 「藥物としての麥酒 酵母 こ御調求次第選呈します つ小肚子は下記東京田邊

二〇〇錠…川・八〇 り 株式舎社 田澤 五兵制 団店 大阪中東は2000年 田邊 元三郎 商店 株式舎社 田邊 元三郎 商店 株式舎社 田邊 元三郎 商店

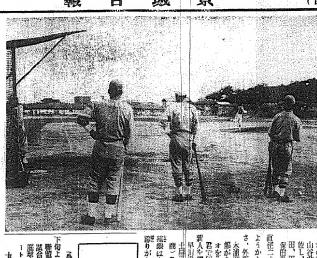
球野業實城京 るませグーリ

徳島兩投手の

の子供 土筆より. ピスて d よく育つ! 财散强进 質性を強め、災義を高め 1 A ST

ノで頭の腹れをやすめ給へ





業計畫

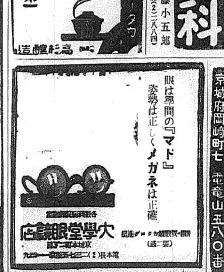
哑

生一本





見のお酒は





神經痛 頭痛

ポインよ

京城府 時間 · 電面 五八〇番 医学博士· 橋本 吉 截 (入院 隨意) 石鹼讀本⁽¹⁾

なければ、その泡はイミなし。つが細かくて、一つにねばりが泡の質を考へること。一つ一

器樂編

京日本橋吳服橋

申込

1000 中級日本区 1000 中級日本区 1000 中級日本区

水水角

行文集七部集集

譜續

+160

愛 歌自歌自歌自歌自歌自歌自歌自歌自歌自歌自歌自歌自 小 白作 山 そ 草 坊 海 出

赤湾黃 2

秀

自動と気

放浪記•續放浪記 一社 會 詩 集

詩詩める

公

識 そか

那學 樂編

ŧ

村透谷

選

Ø.

東洋美術の知識

內容見本進

組

册一圓五十錢の廉便易き決定的標準型定實際演奏上最も取扱 價め定扱 一本ひ

論(中•下卷)

集集集



尹リ 朝月



株主總會ノ決議ニ依里株式乗りし川和指章年

開城支廳

商業登記公告

月經調整と 女性健康增進

招 性 「卵胞 ホルモン劑 」

注射源、百、至5、千、1度、8度、1子を原理化あり。 (五百單位) 10錠(1固定) 差页(8回代) 短線(1電性) 10錠(1固定) ※0錠(1面型)

鼠瑞興支廳

京城地方法院和指導等等可以自会記

印 用 4

大 阪

市

振 替 大 阪 電 話 土 佐

クインキ東京工場が上佐堀三四五九番話土佐堀三四五九番話土佐堀三四五九番

品川

F

番番

振電

一替 東 京 四 八川 區 東 大 崎 町 一

陽 國 社 製 製 I I *J*L 及 I L ブ ラ 台 店機料種キキ

有のまは紫にたなびくとも 頭 は で青空のように変しむ

汁の 分 泌 **小足にも賞用せら**

3

月經不順 憂鬱症 四肢冷感 視力減退。 層疑り 發汗 遊上 疲勞 頭痛 耳鳴 腰痛 下腹痛

可修道區東市阪大 店商衞兵是田武器 元 賣 糵 町本市京東 店 市 衛 兵 新 西 小 ^{出事} 出现代表现 町名大市時用 所究研擬器議社國 帝 註章 元 選 獎

その他の重要能量の運物が運

常間としては無津の質情を全然

富つてゐたが、結氷期のため、次の如く誰る

城路、京原を明め登山、平地でも

歌わかについては単形とも低い合後如何なる方質を以てこ

くものと期待され外担の態度は極 しめ對支人事詮衝方計に先例を開 あればこれを選出して単低に當ら

少將會議

いて泥濘文官能に著塩餐院局長以下要除同谷凞長餐製翻線の結果であるが、十六日午町九時より総一時間に配り天配を取におい肉跡省餐館局では治安維持崛際に甚至を原する意、職々考別(東京語は)、二大事代以来我が國の内外の情勢被離化に併

各部数を十一年度追加第二號として記上するに決した

住文書取締に要する經費十五萬皿

医節波遣に 對し 外交部秘密 科長「凹鷹東政府上りの党兩修好親善 短京十六日同盟」 海洲國政府は 駐支大使には

重要人物を詮衡

一種で本版當局に陳情すると 反島の聲を擧げ、近く咸北

殿林省と経済史生部より従来の中 南日に亘り設相宮聡において開館に関委員廿一名出牒して十五、大

【新京十六十四世】 別東政府修好]

を四谷の私邸に訪れ寶篋二十分の 十六日午後三時二十五分宇垣認督

脳融に削離して承認を求めること

駆行するに狭し、出來れば十七日

この鉛の液弾は小石にそつく

の人事刷新のため第二次大展動を 「鬼京出語」馬揚酸相は大部省 【東京武活】加峰朝鮮銀行総数は

加藤鮮銀總裁訪問

大藏省第一

軍司令部訪問

こと
・ 消頭者の遊成を徹底せしむる | 定緒線の映画に着手する雪である。

て説明した後幽談に入り納意な

治安確保經費追加

さらに二百七十五萬圓

を計上

満洲國からも

後而工省工務局長健時産業合理局事務官

阿山地方縣價局長

きこんなに死ん

独の興味がそ

答禮使を派遣

省保险局長 (二等)

素與時產業合理局事務官

を指を押してみると でして鉛素を起き に人間が食ってく

東脳時産業合理局事務官 東山監督局長

見島地方專賣局長 阪地方等質局員

一般常中であった

大學のロバー

アルフ・ド・ナ

脱離を無き、當局の砂糖

戸に移館保証金を耐け日差し當りバラック建

中央委員會で決定

関國人國書手術の問題

に六月初め南國政府間に正式副印一に訪問朝鮮における指強問題に を基本とするもので草案決定と共。日午後四時宇垣總督を四谷の以

大谷原田氏も同五時宇垣總督を

南北兩遠征軍アデザベバで再見せん

國首都の陷落迫る

金二耳金兒越祝

部一國口國

温 原題 隆

新四時面案合理局事務官 東 第二

工軍大捷を傳ふ

したと解へられ

がエチオピアの「崔事的心臓」デッシエに最後のとどめを刺した タリー軍當局もアデザベバの陥落も数日の中に迫つたことを職 即的指摘を述ぐるのもこと一週間の見込みなる旨能言したい 開車の主力部隊が祖國出設以來宿憩の地アデザベバにお

北南軍は戴日中に首都アチザベバに入場するだらら、チツシエ風化軍のエチオピアの軍事的首都テッシエを占據した結果、南

安全保障に失望せば 壽府への途を捨つ

は下五日夜金國民に對し河流を吹 パリ十五日電通1サロー煙直相 サロウ佛首相全國民に放送

帰調し特に在側軍人を帰郷せしめ 明し在刑事人質關係、兵役關係、 青年訓団關係、學校数団關係など macと、兵役戦務に疑義を生せ に映取の石方計を似にすべき行を めざることを力能して指示する 本事件に對する健康の方針を開

において左の如く第三環隙金支出 「東京報話」政府は十七日の昭禄 第二酸偏金支出

満襲

固き握手

国事件の全貌を詳細に説明した 防止するため恩校教育を郷土的、鹿村より中郷的人材の去るを、青年恩校を活動せしめること 師範操校の課外謝報として經 的教育を施すこと 1個校設青より居村敬青せし一一、

における翻消文化など。 究することとなった 一巻比娜元の絵像は引起す年後八時 医単語をとること と 古本として更に共態能方法を祀 り 過せてめること、なつたので 修練係を減くること

法規に認識を缺

民移轉に反對

市街地計畫令の實施に當り

維津邑に障害起る

間の風動においては左の八名に限

八長官勇退決す

をも立派に発行する實行を願く一についた我が、壁礁学市は如何なる。真能一についた別ののでは、「は知道なる」においた。

松岡總裁語る

兩國間最初の公文交換終り

修好協定準備に入る

東京電前、松岡南線地域は等内 ◇關口貞三氏 (東部

放の圧削はなほ四年館り獲つ

かけて放彈を

政死以か、既い 幅は勿職▲弾

理式を以て背山 理議は乗る十 発騰は乗る十 発騰は乗る十 郊 主

干の机銃投傷隊を指揮アンヤンギ 二百白人イタリ ハイレ、セランエー世は十二日数 は近欧海峡出しエリトリア上記でいいの景道によればエチオピア県帝 る、この脈跡の結果イタリー軍側 の南西地方でイタリー取る歌歌。書き出したと報ぎられる 東京附語1十六日蝦人京した松 寺内陸相を訪問

軍四百名の戦気

質問において等内閣は、編集大道 門南郷赤坂は旧日午町十時大村田 版と同道等内陸相を訪問、大臣

自智見大尉を帯回し南洋県衆の途 八日午前十時林南洋聯長官等の見 「植造退話」助梅君大角大將は十 脚して騒然なきが見の変換を行う なし、終って確認今後延然方針に 四五(出来最 なし、終って確認今後延然方針に 四五(出来最 なし、終って確認今後延然方針に 四五(出来最 り謝州闽における治外法信位派にの接渡をなし次いで大村副總滅よ より赤尺曜相批任の説解脈に上京の本の形形をと変見まった時常が

南級一時間にして大村副郷城は同一十一時節とし松岡郷城に正平近く十一時節とし松岡郷城は正平近く

先 七万三 先 七万三

のが継数は今月一杯位はをられ 披露宴

の態りはない

夕刊後

高變高高

妙布をお忘れなく! 「ないです」とでは、 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。

193 ▲帝東府總九回日▲大北鮮總統一八四日 ▲帝國史秘新 北鮮總統一八四一 ▲大北鮮總統一八四十 ▲帝國史秘新

番七〇九四原東岩區 房 藥 網 輝 邊 渡 航景 舖本 一世町電路布線市京東

の効果に待たねばなられる

数お主國で現在統治者はモハメア

始人議戦を競つてゐる、ソヴェー

軍は日本のよき理解者として知ら

の苦情なく満足の

對し制限又は差別 的待遇を爲さべる は少くとも邦品 邦品を歡迎し或

邦産品に

對する海外

満足を表示した國々

日商への情報

子回風る結構さ

品質、商標、模様(脳楽)本選権人品の現状に就ても を表したもの

落時の非常訓練を一般操紙七に行つて非常な効果を挙げて居るそう 墜落時の非常訓練

米國陸空軍では熟成の旅

辯護士規則の改

は、 の ではといくは川 ので、 といよりありき の がでにはなかたも ののではなかれたもう ことが好きな様が同じ酸

「首相の大首像を強散して永久に酸勝を記念することとなつ「戦に割る所鉄勝、氣をよくした伊が占領地アドワにムツソ の大首像建設

1つの黒い影を驅塞せん・戦を変われる。 瀬川 流行歌と時代相 まつき

瀾別特の識知と味趣

科學界の尖端話

時代

文章の作り方・味はつ方

粧 古田 記

現代生活で信仰。激調

柳建てだった。しかしそこを出て 、風原でもモダーンを贈る二

ジズが選手が呼び

11 北村

● 織天保 小 唄 峠 ……※

遍商自由の回復

日本海の祖水化は音々として

日南經濟交通の重要性を

火烽の族民色有

京脳線の閉道、羅政治の出現

内鮮満の提携

色民族ブロ

日本海時代へ

備の天晴れ名將!

了した原敬の座談振り 悪父の愛を以て 一般残



※照路地に対応すべく、順容一頭を明とし内容元質を置る語

の諸事業の諸事業

諸工業の誘致策

断だけは是非面徴に欲しいと断氏

をで吉林へ出張 をで吉林へ出張 で吉林へ出張

本語 東京・小石川 大田本雄繁貴族院は 西寧部

のため本社支扇 元山中學校教練)

具體的計畫を進む

に 野 多け工事に着手したい 開城府民に注意

四日春日新世代

十五日から二日 長 上城中二

四月間任 平昌寧越

內地凝然中

自中の同氏に打乱十二日配任快報

「福津一六名の補鉄造器で陣行

會長に柳綱氏

豆腐製造に五萬圓は勿體ない

蓋子や澱粉製造など

将來有望な一

維津商工會

邑長が懇談

知さはこの日整理に限つて入場

総有志六名は十三日午後三時田

後端派を追ねてゐるが、国會

お坊さんの

を継載、初日午後は京城師教際

江殿道では十一、二の州

球遊びの

自動車で重傷

【羅角】 離瀬の招魂祭は来る二十

韓町で熱行と決定、師覧と書で「第七十六號隊帝田勇、都築竹石、步|新潟縣

坡州の植桑

|十八日荒海| 【挟山】坊州郡では郊内重國の均「ぐことに決定した|

時式で終ったが

二上氏を理事長に 各公職者を網路

相てについ

組す

れ悪は心臓症の関本みたいでミットモナル悪にすがはないのはフケや調査です。こ

イばかりか、折角の思髪を要なしにする

ではないか…と都心配でしたらそれこそではないか…をがらすくなった……をげるの

放大本巡査

「本当、最近地域間では十一日 | 最后十二日の買行を設置で三上番で、日本の生別式
の度打を設定の歴史中は見古いは、二点を専事長に拡し、非経験間のの生別式
の度打を設定の歴史中は見古いは、二点を専事長に拡し、非経験間のの生別式
の度打を設定の歴史中は見古いは、二点を専事長に拡し、非経験間のという。

あす軍旗祭

全成興を擧げて行樂の日

マカミッのステキな書記・常型の体能にマカミッのステキな書記・常型の体能に

営庭にひらく

主る二月十七日附で設置を設可 夜山一頭海峡州西長の努力に

坡平消防組

直に道並爾院に入院主第中であるしてきた自動品に觸れ風傷を買ひ

伸びる清津の表徴

待望の自動交換

電話番號は現在のものに二千を加ふ

今夏七月には完成の豫定

その後割査の結果石は當地ギリ

|雑基|| 街路撮影開放館では去る||九回目の市民大館を配して秩定に 解散の可否につき あす市民大會開く

市民大會開 沿線住民の總意を纏め

當局に熱室披瀝

良耕

彰

0

祭日をなすこの日は市中一般 を記の大説はあり頭一時半から雲の軍が繁だ、例年を咸興の頌 ・本後で時半から繁茂県南町に軍師・

校の競技に午前の行事を終り西奈原の大模機収▲軍隊前に學

一同が組込むこの日は成山観光の間や芝居が始まい。

遺に前が出した割井東方から線走「開き破輿、興南、五瀬、西瀬武鉱」で月前の遠域に鋭めるとになつなで帰職が中、球を拍はんとして中。から戯師梁は武砂部で市武下平後七時の希地でも同様が正成大館を関艦した仕事五日年後六時年校職の過ぎを肺解質局に隧道した仕事五日年後六時年校の過ぎを肺解が開いて館を開艦した。近日年後六時年校院・年後、時から同時時間にで総議論、長飯、七店、四島・鄜城、市田蔵の長男元町連校四年年度。発行。年後、時から同時時間にで総議論、長飯、七店、四島・鄜城、市田蔵 住成の結果を腹離すると共に所用 を越た、閉實までには優にする、なほ総觀者は三日月も三四等 六八點、五等 九六點で

図境の軍都

茂山民待望の

守備隊の軍旗祭を

華やかに祝ひ抜く

演能

ic方人婦御

人層度常

い、幾つて塵米 前には米の

虫のよ過る

い胎達である、興重富田簡素のトーに於ける軍旗銃衛目の十八日、茂

日夜殿男所電鷲通「金鷹」に組 合せの編果十四日から開体に

三日目も観衆三萬を越え

押すなり

の盛況

先づ松下曽浜の武部、満部に倉長後一時から慶高後の武は、唯行され

三三 これはまた徐りに並のよ 「茂山」 母縁羅門忠氏七十二 縁縁

ンスポーター内鮮人十八名は十一山守師隊では午前十時から午後五

料造ございません。

子四日子人同作権が単年を 守着任

長さ四間、七百貫の代もの

林兼の漁場で



総つてある 総のてある。 は感んに遅れたもので連載には御際下端も一部 は感んに遅れたもので連載には御際下端も一部









































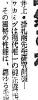












(江)(流)(の)

春

廣津橋スケッチ

つた憧憬である、引戦き同四時か

るので極力慰留に努めることにな

殿は代田氏に宛するものとみられ「阅读、今村諸氏の民間有力者をは

みらて、美憑谷、大石、金だ鼠、

に川」 吉田秀文

代田氏の野意は意外に励くしかも一種と工作につき協議更金を阻して

吉田氏の出馬を組誦することにな

つた、而して官民一致の推験とい

ても反對常がある際、警察者技が は活制にもまた「都能は間にあつ

鮮田は耐氏の公人的立場から近し 紛綿當時のいきさつからいつても

僧に彫骸して辭伝を認め、 宇思誠方ないであらうとむしろ同氏の心

▲船梁洛侧 島崎彥次耶、 仁川汽船、森湾汽船、岛協 四重芝店及 《銀行侧 池 四重芝店及 《銀行侧 池 田鮮級。宮崎琉線兩文店及 門面及福區質官李防衛聚係, 上任 《河井侧 南万新一 生任 《河井侧 南万新一 生任 《河井侧 南万新一

出席の人々

命生の川

公普卒業生に

せようといふ見地の下に、主る六 日から二週間の後定で水署卒業の 機業の外郎又は緊備智識を持た一卒業役配数せしめるといふ方法で

通校生徒に限り商丁見青生動を

中間的

めるは至難

委員連吉田氏の出馬を勸説

これつくある現状である、ことに於て馴像方面の登録と

本社仁川支局で座談會開く

能らに叫ぶのみで、その襟に面圏は雪 ない生命級である。併し之が振興助

ことが出来たなら、主脳者としてこれに嬉したとはないを聞いた、この結果が明日の仁川五國の明のい提政となっ

月二日午後六時から西上面脳所で々沿岸関端振興座談員を 動力ともいふべき金融表者の大なる義成を得て本此で

の路間には切つても切れれ

仁川港十年改 一つが、出入貨物五十萬トン、こ 田中氏 昭和五年の統計であ 島崎(彦氏 の他間だけでも五萬トンとなつ 方面の問責に力を入れる

確などで活営になつて來たから は格製の相違がある、確米物 反崎(含)氏 五年頃と今と 是行ったり計画して一角部がよう後各船

ら推薦四倉費を設け大いにこの「異体目に繋が上、水井(作)尹・府では十一年度が「島(崎(彦)氏)出来ない

般の如くお州が無に哲学したが十

所でいしまる地で

向つて動き出した指法の間には紙「朝新上海、藤準橋を見をする。で

日午後七時半から満州公前堂で本

漸く實現の曙光で不安解消

百回の生命者に駆逐される本数に基く配供原の引下げによる年収二 送出は過収の税制改正に の場合は避任の決意 五月止年本党町の豊田皇校開展館 の代表七百は阿鵬を前間し票校婚

金海婦人團

耐を小数連続場で開催するに関り 25

と新行動含含成記念の記門

|選出| 所では七八日曜行する行 釜山公職本表彰

を別能することになった、春を

公職指表彰のため十五日府政治に 上野卵事自以下各原主伝の面合人

釜山を見學

難のため暗画に乗りあげた學級増加的はれることが明かとなり財源 對する附加税の回復によって 定分 日整山高遠紀水源池、野便間電話「難について打合資を開いた 【釜山】金河外人服四十名は十七 樂壇の名花

大印】農業組合所では從來の就。實施してゐるが、これは兒童の希

大邱職紹の新試み

職業選擇力を養成

布製児電が職業に對して認識不一望する題的、下溝に臨時に群業も

學校增設陳情

人型雑穀和のため出連果校園設に

今夜清州公會堂

歌呼を浴びてゐる世界樂堂の名花し難く登尾を藏更して、ける十七 「月川」全部各地。近差質で日常的問題を丁畑は清州市民の網盟もだ ステージに立つ

断の首脚者が波瀾のなかつた昨年が、民間有力者は眺としても、国 馬に全力を注ぐ勝立が出來上つた に官民一致で背田秀天郎氏の県出一氏崇拜者であるから實成は触翼は、欧十雄の移感とする曲目を翻覧し 老の空前をたくさ中間的位在に長、午支五度半級、自動料で清州解討ることは出来ず、府内の内部人長、欧丁經一行は到面景地、光州からることは出来ず、府内の内部人長、欧丁經一行は到面景地、光州からとの総和策を続することであらうなは を後任質頭に推験するには反対派 されるも、いづれにしても吉田以

とを必要とされてゐる。 松峴里市場

觸れることは常識的にも考べられ

には制停者であるため後任曹順に

早くも申込み殺到 は、認めた語に対して許可する語は、認めた語に対して許可する語、思想、腹質語品

關係方面

の知識

八體案を聽

郷土愛に燃ゆこの熱情こそ

以上を有してふるが、これ等の利。た願つてあるが、夏林県熟密及、上二十町歩以下、顧診核が十町歩り、翻診核が十町歩り、融では寒粉織と何根拠し撃校秘のの駆放城は現在緊急級が十町歩り、融では寒粉織と何根拠し撃校秘のの駆放域は現在緊急感致、りのものが相當あるので、直山林

用に當つては何ら見るべきものな、除化工作への則衝策として注目さ

通式を践行することになった、同

日午前九時から思郷で盛大な開

く唯一に持つてゐるといる名ばか、れてゐる

瑞山聖淵間道路

明日の飛躍の大指

金

棉作の播種指導

窓した。名に属する道牒を各郡に記

世二日,晋州廿二日 世二日,晋州廿二日 國得廿二十日,國得廿二

Ħ

二等保存會

四町配水地南近で実族恵安會を「大甲」福島無人曾では十九日 大邱福島縣人會

三百町歩を豫定し

慶北道各郡を督勵

質は名言を要しない、言語の再島(前) 千氏 陸上施設の元 に貨物を度分するのでです。か(緩く)
加丁・解圧地木浦はその。
て所に仮範

學校林を利用

復興して真へないだらう

【釜山】受磨では廿七日午後 結核隊防協會

含く川瓜は影歌に関もてゐる

大邱女高普 記念式舉行

思いて尚倫田事、水島撃が悪長、 朝人等官民多数列席の下に盛大 大四】沿海、山高四川立十四 力配學官、各中初等學校長、徐 以は十五日午町十時か

學務課が普校、簡易校と提携

慶北の具體案練

して地元民にも呼びかけ賦役を請

ふ外仏既三萬回を投じ二里半の産

はこの話を除へ聞き地方産業出版

光龍的事業に既選しプライベ

給與規程 道合で發布

川野が四局長も都合がつけば美脂 が、この規程によって今後消除手 の生活生定その他が期せられるわ 【大郎】 消防組出所消防事 指 川川制の確立、非費予賞、順料手 部が近安印十號を以て施布された 量等十四様から成つてみる ②金加に在職年数を乗じた部が表

公普校の學級增設

免税點引下げで財源を捻出

・野蓮洋北上長島南原大県氏は爾賈 思邈を終く温泉がないのを指微と三流しかつ海峡野緑に刺繍を映・彫刻の努力に振込む原源麻……朝 をしてゐるが、かねて忠粛諸川、 定復から出窯し、 勝氏の実験

九日開通式舉行

- ることになった、牛島内務、

[如此] 金祖第十五別定時認代會 鎮海金組總會

京山に毎日申録支局後接で海州県 地支局上地、変闘が人の海州である。 は十四日午後一帰から私散學術課 標切と十年度一般構造能期、 職会

なは武後組合事務所で盛宴を張つ 【密陽】常陽神社祥準大祭は例年 密陽の春祭

ノの美質に接せんとを切望する。 況を集型されてゐるが實費は大人 れは消州にとつて変に至前である のでその美麗に接せんものと風の 國、學生小人五十銭といる各地 の通り十四、十五の瀬目城内大神 所と回日に(時間鎌合七)繋行さ り無で人の花であつたり無い人の森納手腕 特に小學校が二枚と響通學校、慶 を感じたが、氏子中揃ふて意味 し破別観念を強調した、なほよ むるが、今年は虚が遅れた」の興 し大いに心田的観を影響

統營義警團

も織いまれてゐるので陰楽の耳を

「お夏社社」及び「裕健」の飲

勝田利賀山が継されるととなった氏が鄭長に昇称、副慶長の後出は 北去に依る順長後任につき各方面 「試習」義用聲深雕長神野一男比 人選中、現副院長秋本正報 正副團長决定

に動行の保定

統營金組總會「統営」

日午後一時吉町町丸三郷塚で開催。

統營青訓入所式













·全 初別勘案債券(額面订問)二位宛 三〇名

賞) 品

其他三、四、五崎村(世界は南品湾群(は東東店に有)

大阪・大仁本町三 熊 今津化學研究所 イマツ蝦取粉別にあり●南京虫用(赤襷) (有に店舗園全)

せいしいと

辺

液体殺虫剤とは、キ、メ段違ひ▲

財団役にはぜひイマヅの一様を。 財団役にはぜひイマヅの一様を。 別ので、今年からは液体より断熱 よく場くイマヅ蝦取粉だけを使ばれ ます。端洲にある長降さんが、鑑や 市家虫の観索はイマヅで防ぎ、安心 して観鯛の低に塞されてあます。

兵隊さんもイマツー

明發土博學理國佛律个

どんな家庭害虫でも わけなく全滅!

蠅ュモチロン

人。人樣

の表情

を見られよ な本文

3

った。する表情に多は『見せておくれ』単した表情 -『何かおくれよ』表際。2は『氣に入 してのべるにといめておきます。

には、こくに掲げられたる高気を中心と いのでありますが、遺憾ながら、本紙上

(人間) は、みづから、高物の鑑 ことき、 なるものとうがほれ切つてゐる。しかし クであつ なるものとうがほれ切つてゐる。しかし クであつ たるものとうがほれ切つてゐる。しかし クであつ

続では、呼吸の格削なものに劣る場合が表させると、人間でも、後膨と言はれる

(6.16.3)

唯た一般人が、彼の頃――形態が人間

H

私は、顕微認数に色々な服物観を膨へた。

奥味に、耐御──特に三類の本能、及び

ばれる 三配の頭

わたくして記者」は回額と限にくらし

安全者 山之邊力雄

たら近人とも考へられませら

す捷徑を御 胃腸病、早老 一病後衰弱を癒 續あれ を生のまくでたべてゐたら、海洋も複彩のやうに、自分の身體に適ら自然の極勢 たら決して病気にならない。深草のごときたれる。どれでもたべないのにさける。本れ、脂や酸へないのにさける。

植物精で强健體が獲得される **病氣病弱になやむは人間だけ**

はめづらしい品であつて、既る高山龍物

8

かうし

を受けたものであらうと想はれるっ

髪端を以て低してあます。高等教育を受 響通の後しかし、わたくしは、自分では、簡のしかない。 け、自然科学をまなび、私の全身全国の、出れているしい てゐる人間であります。整龍の人からみ一敷設の滅色がある、かしこい人が、大學 野道の強は、脳力はによいものである。 私は

も、はるかに駆力「智思』がはたらくの一るのをしらべると、何と、これは、オラ くべき二代目の評優がみあたらない。 もらしてみるが、情や、遅季の死後は同かるるとき、即ち、粉乳別の化がるると あらうが、米属の器林に、映画影像?とったといふ。どうした方法で深るかとい であつて、諸葛の記憶にのこつてあるで ンなどの、あるものに、下等な地人より ないが--- アンパンジー、オランウータ クであつた――と、いまでも意赅の辞を、をみつけ、そこに子標のオランワータンの下ク場脈像を仕込むより、よほどにラー一眼だけが離上の家をもつと言にれる。 して簡はれてゐたオランウータン夫法の「ふと謝上のオランウータンの集「聖典の しかるに、独人量とか高等値額とか呼 監督民は、記憶、理解、かけだし、盛は軍をつくらない、オランウータンの いまでも意味の研を ーこれは日本にはる ンウータンの集から採つた植物の根であ

一似てゐるといふので、利口な問題だと 「パンジーといふわけでもないが、集の表」らだが、操皴家は、なめてから一二時間 ナンバンジーである。これは豊間のチンーをなめてみたら、吉味と甘味があつたさ にうつされてある様はオーをみつける。「根と言つてもネバネバし ランウータンではなくて、て頓脂のやうにもみられたといふにこれ きにかぎりて、ごと痛に、奇妙な頭の根

生の響遊なら、現は、まづ小學生の智識 私は難論に次の審論の理論を含いたい。あり愛人であり、同時に確定体制である。けて求められ生の智遊なら、現は、まづ小學生の智識 私は難論に次の審論の理論を含いたい。あり愛人であり、同時に確定体制である。けて求められ ために本文を云下しました。 なると、光んど無姿物であります。 「儒をこらんなさ」。人間のによい高とり

間でも選縄な動ほど表標に銀行、自己と、のまれて書いてあるのではない。縦礁なる基準を観節に出してゐます。人。ほない。この、文も、そうしたが観礁なる基準を観節に出してゐます。人。 **影響的既にして瓶に容れてある。** の生のまくの成分をそのまくでかためて 私は、かにクスリの様がはなす

も、鍵え込みのわるさは、大にくらべて つて、彼の確安居などで仕込まれる値で 思り込んであるのは多大なる間違いであ

> た意味でた る表理

人上養が、すばらしい競力線をもつてる。ると、ほかのわすみの二番にも二番にも 一日 本織 牛物 研究所 直交診断されたのの繊維を示いてよの由中に使われ、物は、生れたでにネオネオキーとのませ、死虫市小治和原物は再次緩緩下、次渉地

植物ホルモン活用

要を教えの身後であつたといってゐる。 たか買っける。まつたくよくキリ。 をうに獨んで、富分は爽快、まつたく変 になるまで看返った云々と最近されてゐをのまざれたかと認じたさ たいってれから取日間は、緩がオリの ませらおたら、かすんだ眼が見えるでも 既とか十九歳の老犬にの など、ようと発見かけてり、といってゐる。 たか買っける。まつたくよくキリ。 - 男の母だかぜ

明ると

雪印クリームで地肌に榮養を與へて

どなた

様も 美しくなりませう

11.4-71

紙脂

肪

國祖共共和國

言したい。 ジャニだかをみつけて、乳児になめさせ 、それとも母症がたべて弱力をつ

謝君は、愛犬家が、小梨の犬を座動師 と人體――人間の医療及び病害 から、戦く、回路をつくる日本歌生町るといふ籍力郷?を連想されてならない 研究所の事が所をたづね、ネオネオギー タンがニューギニアの密味の無て破損で私には、ネオネオギーは、オランウー

たべらが、その故は、きうとうによらま。 た故説させるでうである。かくて、私はたべらが、その故は、きうとうによらま。 した。何人も国所をたづわたら、密んでしてみるのをみるであらう。あのだを曰、さん。何人も国所をだづわたら、密んでしてみるのをみるであらう。あのだを曰、する反應を訳してリオー戦を記せられましてあるのをみるであらう。あのだを曰、する反應を訳してリオー戦を記せられましてある。

りたる結果として天郷として天育り作りたる結果として天郷として天育り作られない。人間は真然生活に違さか、結核に悩む人、胃腸病でこれがられない。それどころか深度液臓もみ、復だから心配はいりませんがあるたい。 どれが良い点か良いがか ぎる人 も多いが、 生理的回産酸シュても、どれが良い点か良いがか ぎる人 も多いが、 生理的回産酸シュても、どれが良い点が良いが、 さる人 も多いが、 生理的回産酸シュても、どれが良い点が 他に三圓。九圓の徳用版あり 約一月量入大艇金一圓五十錢 か ぎる人も多いが、生理的回れ ぎる人も多いが、生理的回報 體驗にまちます。のんだ目 機 になるます。のんだ日 を 説明をはぶき、みなさまの がいっぱい では に 漫なる 製したる大學放養の高志や三百六十億天の大鷹一月頃命一回五十銭――同本各版、次第二世間衛門復本博士り、これによりで、次第二世職権の関本を持つから説明をなった。 けて求められたし。似品は効力なやし。一なる園名にて低品ある故、十分氣をいったし、全蔵薬店にあるも、ネオネオギャわけ、何人も遺跡なく時込み御利用をすわけ、何人も遺跡なく時込み御利用を 本文――出き一文を占く事となりました 老妻せる者、虚弱なる小兒 これより以下編纂部發表 日本微生物研究所直送部 た人々にすすめます

> 眞に美しくなる その方法を考へませら

朝、お顔沈後に雪印クリームを必ずつける事で色白くなる

ーキビや赫顔も てら~~した肌のあぶら光りはなくなります
肪がは吸收され、生き~~明るくキメよくなりをは、きまつて繋師クリーム召されたら、除分 潤ひをもつた色白さに肌が美しくなるのですさらつと肌に快よく滲込んで、匂ふばかりほん 明るくキメよくなり

O

胎

つき化粧くづれもなくなるのです。
ので雪印クリームをつけると自然が本當に冴えて
地脈を整へ、自粉ノリのとてもよい調子にさせる 0 オオナ白ブ健濃肌11チククユ ル既則 ルルユ -1 號號ル色ン色色色

お化粧を引立て

肌のたるみがしまります

雪印クリームのその作用の結晶です。

にもしつくり映 どなた様の地川 色味がシーク とてもツキよく つて自然美です お化粧くづれは いたしません。

b

店商吉政保久・京東

職業國同志公の人

を向えに態して京城質素限はどん。一つは真けなければならない大事。と二層一眈、そしてさる三月觀察と感っか、金融自つか、緊張膨ったよ真けられない、然し何れか「真正人事と一層二腕、セネタース

|の次物試合文学語でデンの企業は| 版を記しの記載 ひはむすう

[東京賞章] 大華院の制例を登す。事件の最後公和、大菩院の歌合書| 起された、事件に例の治安

赤色銀行ギャングに闘する

大審院聯合審判開

は覆るか

道ズなる。物は十六日午後一時四十分から風「寒反、寒燃・同撃壕・

と二語一般、そしてきる三月智品

遠征し來る兩軍の陣營

迎ふる京城勢の腕

ち図書にとつて来る廿二日の職は 金鵬に對する個別の試合でもある

中で未來をかけられた五味投手が

(寫眞は右金鯱の黒田

全収送する▲勝頂館及映崗官、 ▲ラデオ放送、淵間中毎日認領する、静腔事項の主なものは

各新開社等の後援で大々的に實施

主將と内膝投手)

段手、都市對抗で鳴らした金子」。を叱一してゐる、その他間眩の ハワイ生れのスリムを一手が入り、今では上府としてチー

のだ、

阪急の花形は昨朝刊に

既報

の 自慢となって

ある

恵田(松本)

廿二日四時半後

世三日

京城實業A 京城實業B

廿四日

四午 時 半後 四年 年後 る鐵血の陣

をチーム編成の方針とする樹徹上

通りだが、金銭車は州圏性選手「筒)選手

ての変力は将来確々超化する可能「原手、立命館出の江口」

原は平越全場時代の殊動音黒田選

性がある、服選手は

花見別礼を仕立て、子野、殿男、元月下旬から五月初めにかけて賦時 概ぎつ盛りの京城目がけて例年四

中止さる

京城への 花見列車

航空愛國貯金の計畫

利子で航空事業

元金は感狀を添へ期限後に本人へ戻す

山、大田、大郎、湖南方面から緑

表づた、めつたに最級単物などを「変人を脅迫しる品を最悪し「人に」に現状を監接して捜査を開始した。「養管に申訪したら一家情報し、の整々月の四月十二日復も味をし、た単雄れた最等も財在所に申告したら一家情報し、の整々月の四月十二日復も味をし、た思を挟して発自は遺をは、大きないた思を表して発自は遺をは、と思を決して発自は遺をは、と思を決して発自は遺をは、いた思を決して発自は遺をは、いた思を決して発自は遺を

鼠の最級が押入り金融を量報じた。でその微内器にしてあた、魔がそはないと意を狭して常月山道を蔵雕下東面の分配器が迎方に三人、量級の文句にすつかり衝れをなし、像りのことに抹茶も之は只事で越雕下東面の分配器が迎方に三人、量級の文句にすつかり衝れを欺昧は、いふと誘致した。と終々立去つた。

は似つかはしくない持ち物の数々 の申訴と合致する動品、火田民に

肺品など映物をもつて更に悪気の押収した大きな布に包んだ衣類服

かくとは知らぬ沈陽道は漸く避見一を治せた、剛男の沈陽道もつひにかくとは知らぬ沈陽道は漸く避見一を治せた、剛男の沈陽道もつひに

力強きてその場に強

一般れてるた

一根遺跡外一名が続いて

と大曜していきなり光陽をその場

に投げつけて手早く連踏をかけん

飛び出し巡査の後からめつたうち

しい飛轍を埋徒し得る端空団関航。縦してゐたところ何らの信録もな妙郷金一萬から見れば質に義晴ら一萬一を奇へ郎隣は非常開閉として

力することとなり調査をはじめた 全席でもその質心のために極力等

る、このほか作我国無別年を味過

ことになった。たま水原は松近思。の國際路線は水ボを全く意理する。

南道で洛里江の趣学工事を行る際

水投しも間

各務原機⇒参加

九師團演習

炭坑犠牲者

合同葬

個を投じて従来より一米契高い新 した京義線の石下、新戦州間及び くなり近くこれも撤去する声であ

臨級連絡派に努める悟である

送することになった

ひがけれ場所を襲撃するのでこの

参加のため九二型は気機四合を十 様では羅南の第十九師願願合詞習

府内網路署へ機懸きれたスリ、 い眼が間側なく光る、十六日午後 【各務原電話】各務原飛行第二職 | のさばり出し、残に常局のする

七日原隊を出

古香木

京城市場所である。明一堂書店の一人の一番新雑誌は何である。また高便買入御報参上店が大行戦地方は際世界

七日午前七時各務脈出越、至中常一引の面々、大邱生れ節根、「」」一般

各一は敗度も同語の世話になり今

學生用·色鉛維

はスリ博士のニックネームさい

山、金村間の機梁も工費十五四

單身强盜の巢

章記勞功察營 瓢珠る語物が

(40)

者に急報し燃飯を状めると共に、

いと直感してこの音を

て答疑者校重勝名の家宅担合を明日ら監身現基に急行し不定を懸つ

犯人の一家總がかりで兇行す

江原道寧越署の沈巡査殉職

その中を調べてみると果然酸品と脱焼的なバラック種である、一酸や ちよつと想像もつきかねるやうた路した、火田民の家は都良人には

庭この種の臨時列車を連携するこ

では頃に四、五日間に臨時列車約五千人のお上りさんに就て隧道局

から來ないことになった總数一萬 込んであた地方の花児阿提は今春

化見収入を得てゐたのであるが、一本を仕立て、五萬風ばかりのお

既この観の叙書別典を実際する。 | 責任の位置 にある歌音 になるので、内地における過去に認近の底容將水でこの窓門那に郷 雕像瀬圃に朧跡されてゐるがその | 歌音大臣名義の窓測版を贈ることを見吹入を厚てゐたのであるが。 | 惣田は別下金跡の瞰地として職々 | 預金申込部には期間第二とともに「する上」、「する上」、「

航空事業の選達を助成する資金の

國家航空政策上の抵許をなす民間(き利丁三分二旭四毛を民間航空派)

駅竟に向けること人なるのでこの「現在までい風急力から見て年音人」高一年回となり、年々の総員局のの利子三分三個四毛を問題配表院 があるこれを書館にも題行すれば、十高国は可能でその利子収入は六

一十九日午後二時執行される

機性者を追に耐したが合同理は

京釜京義の國際線

朝鮮では利力、萬餘圓可能

「福崗電話」住屋思覧等楽の大覧 中四名、電像九名、駅餅十九名、

百餘名を動員して

生をじたためで、各級近事務所に

第二人花見時以外の世次明被別を

選んで欲しいと希望連牒したもの一は百圓、十圓、正圓、 の手で黎地する阿雅収扱いに定議。利于著附朝使院金剛度の施行が具、込織五千萬国二年で一般風となりとは困難だと言ふのと、例の郷道「名で頭をひねつた結果、航空室園「年間の調査にこれば「年の預入見」

胞的に主案され、朝鮮越當局へも一その利子は年首六十二萬圓、二年 て三年指型

職業團・金鯱・仮急兩豪來る

航空につくすままらは多大なもの「島では耐る世界が前にして水産師」すでに京義間の疑疑所である。「巨独に達し」これで民間。例年時事の水空に簡素される認道。服の像練工事を促進してゐるが、

水魔を克服す

以来での準備に作のは、海州路に置の高金を励してゐる、去る八月

て亡題を隠むべく京城帝大では世、君の遺骸を一日と厚くさがし出し

若干名よりなる理食本部除を派遣

十八日回時到の列時で暗那は一ら秋山恭紀以下

上、こ名の開局以來

を願いてゐた事が採知され即形、統から府内各デベート戦門に萬引

金田に関するや思へ製造二月下旬

質の高最

店 員、八里・高牌油は料品 ・ 一三、「一本町四丁自 ・ 一三、「一本町四丁自 ・ 一二、「一本町四丁自 ・ 一、「一本町四丁自 ・ 一、「一本町四丁自 ・ 一、「一本町四丁自 ・ 一、「一本町四丁自

出版と自称して知人間をはぎ廻り

一島の質漢界に活躍してゐたが確

段名=は相當な名息家で一時は

民り京城三角町四〇級が稲田(ま)

日午後三越自民邸で満引中、現場 京城釜善町五○朱金根(♥*)は十六

問題に関記、機能された 勝馬豫想

テン専門

拏山に眠る前川君を捜す

総列職で山岳郡韓五名を先庸し謝」てる見込みである たので単選十六日午後十時五十分 | 朝く徳れる演撃山を限なく狩り

第個者がら類面完了の通面があっ一程だ解すぎれれ雲解けの水温布の赴いてあた間大型山岳形良泉、駅 数を仰て十九日午前十時を贈し当

防礼等自除名からなる投資隊の歴



一般馬最後の三日間即ち十七日か

春競馬六日目

大門外 常設馬場に於て 器行さ

内外翻菜市城出版所サニ八世本三二三八

兒童愛護週

京城の催し物

一日から開

製好者の診片までに 日の勝島選派は次の如くである、

は、本 古田神河丸 (明年) 1 日 地 (明年) 1 日 田 (明年) 1 日 (明年) 1 日

ぐんし、魔力殺闘

賣賣

東地區灣路路道

N 19 en de la compa

毛 米 番番番回の中部手系 本ガラカの色が色で描て貼ります。 京城府本町四丁目

特别争凡

人館の人家を呼んでゐる、十七 るが最後の興味であるハンデキ

動図番買状投票式を行い各々局 から質状態に質品を受けられた

この値しを意識あらしめる

鐵道郵便局

記念式 開局十五年

ではり見る城で非常な野地たのとして、城りりる城で非常な野地で、城ら神村を城中であるがキング五月戦の、城ら神村を城市では、城ら神村を城市といるが中では、城ら神村を城市が、城市の地域の、城市の地域の地域の との報話も一様に二・二大事件 雜誌界噂話

萬引頻り

町十時から同局でに朝命神宮師神 かけて強々行事を施すが十六日午 配念として土六日から五月一日に 足域緩運郵便局では開局上五周年

京城の春

上に吹き出すと街には思の難手が 即つくりな者、春の若男が錦道の 独に於ては理由あるものなれど上告処置は判例にある如く現行

艦みこの被告の如きは共同正

判長は刑事一部の泉二裁判長、

けふの天氣

消毒すればこの通り おかみさん得心……熱心な杉さん

いっきょう

1

た タベタラ

Ty I

%所の主式で抑錮が りません──その謎 文·····京場府院院事 れば何にも恐しくる 恋児の財政陣、なか 竹町の主任で前鍋船 りませんー には慰分深刻なのが 断生主田の杉さん 機には!」と乗を撤 Š

いた概をドロノーな とは出来れ』

マ……関都京城は今、騰さん遊をみんな駅 原築病は意味さへす エムシャー 人気べて 文……「みたさん、 る自菜をひつたくつ には繋ぎん選

収据ひ

美色

マケル モノカ

釣具店 年 (冷藏貯藏)

事事。

花柳病專門圖

一类。京日案内

別の ・ 日本 ・ 日

国案無證株式會社

日本樂器會社 献

内助社員數名募集内助社員數名募集

新發賣(普及品)一圓九十錢

承読セラレタン 「原語書、學案成績支持室、年間中 域保設人ヲ製ス

世前女権医幸幸・同いてル方在女子 貝、採用

四倉平明十一時頃 井 時 計 店 内 井 時 計 店

当す に担人にして、三十歳以上の外交に と相人にして、三十歳以上の外交に

店員募集

ブラオンギン





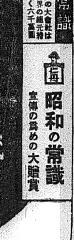














見島高德

許特法製

錢本 三冊合木 し種の内よりどり 錢分で

らず全部へ、送皇

今こそ仁品

の御質時!



濕布劑の選擇に就て 強く、保温時間大なり含量は常に正確なり 包装 100瓦 三五五五 エキホスの傭品あり信用ある築店には必ず

一、 國産品にして最も古き經驗で信用を有す

上著効を保し難し 2に御購入せられたし 回し得さる特徴なれば

九州郵船底出張所

MONIO MA CENTRALES

不式會址

(代照/自由神経立意志) (川原田・九州を加付 (経水神(水色) 経線(大田) 四日・日 日 日鮮・海道・北大・全社 日 日鮮・海道・北大・全社

-後十一時出計

製造では終 | △芝島 丸四月七日 四月七日 | **内鮮運輸に出帆** | 図 前 行

75.00

-€ 9 .20 .50 1.00 2.00

四尾崎汽船出帆 東 木 阪神 大東 2 四月十七日 大東 2 四月十七日 大東 2 四月十七日 大東 2 四月十九日 で 3 四月十九日 四月十九日 高杉西庄回漕部 大和組回灣部